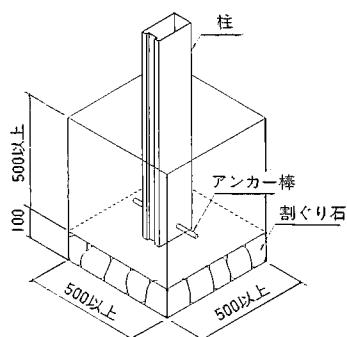


施工順序

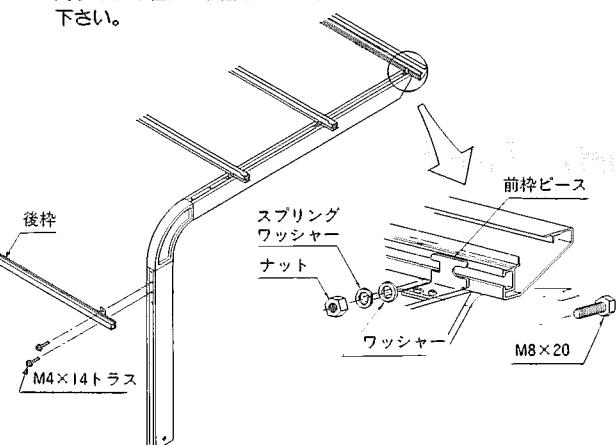
1 柱の固定



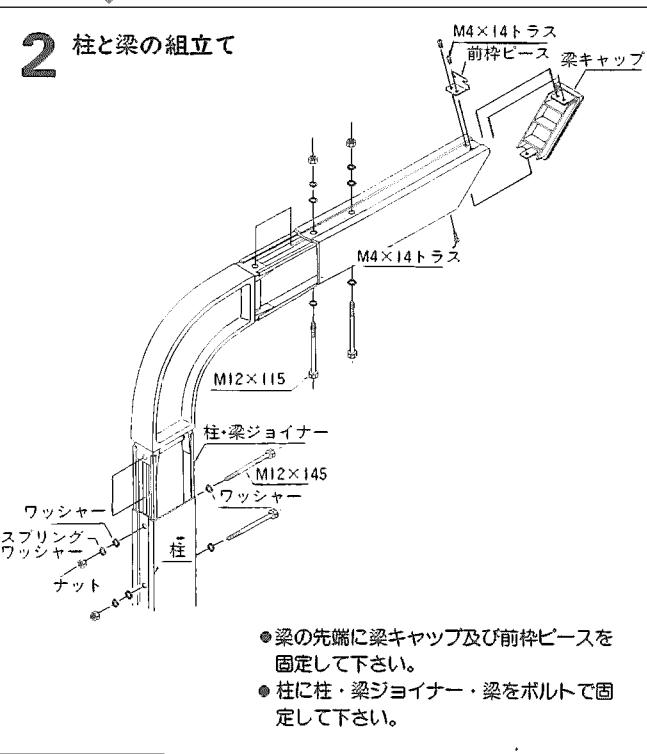
- 柱固定位置は基本納まり図を参照して下さい。
- 柱は上図埋め込み深さ600mmの穴を掘り、100mm割ぎ石を入れてつきかためた上でコンクリートで固定して下さい。

3 柱・梁と横部材の組立て

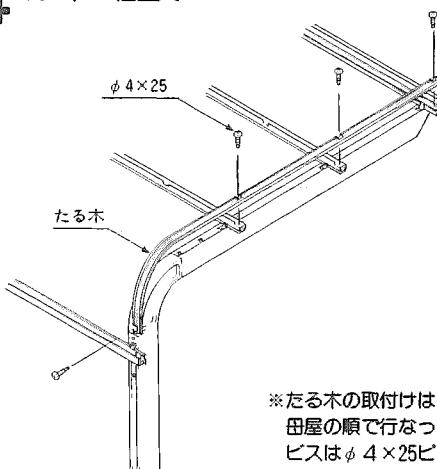
- 前枠にボルトを(3本)差し込んで下さい。
- 田屋、後枠に横材ブラケット(3ヶ)を差し込んで下さい。
- 横部材をビス、ナットで固定して下さい。
- 両サイドの柱から横部材の出寸法は均等にして下さい。



2 柱と梁の組立て

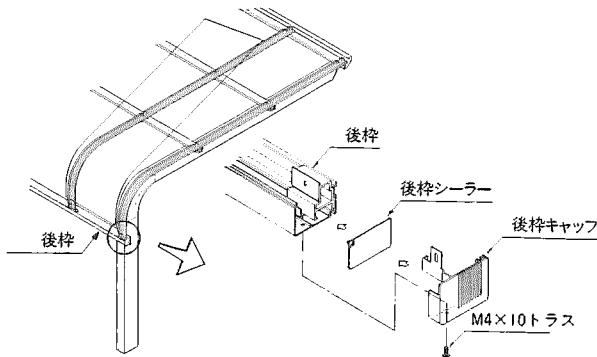


4 たる木の組立て

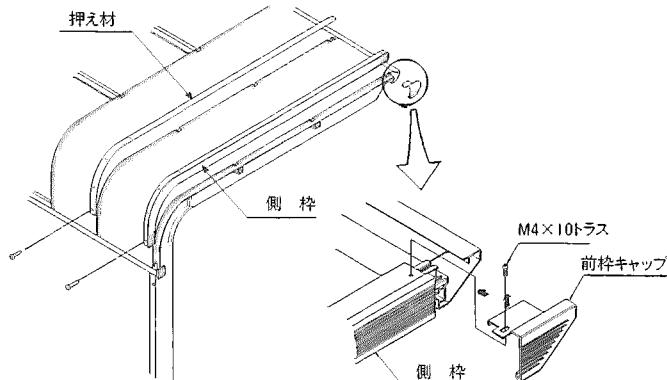


※たる木の取付けは、後枠、前枠、母屋の順で行なって下さい。
ビスはφ 4×25ビアスビスを使用します。

5 屋根材の組立て

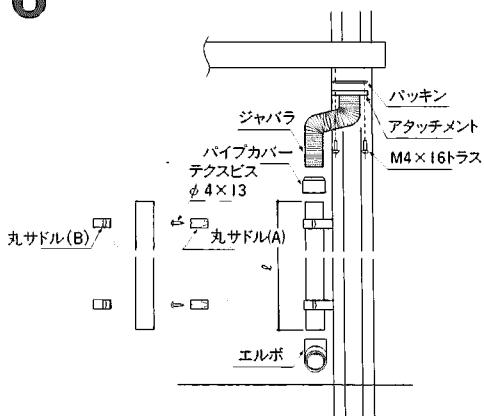


- アクリル板の裏側のマスキングシート(表側は施工完了後)をはがして下さい。
- 基本納まり図を参照してアクリル板を納めて下さい。
- 後枠に後枠キャップ・シーラーを取り付けて下さい。
- ※ 屋根材は1枚ずつ作業をくりかえして納めて下さい。



- 側枠・押え材は後枠側から前枠側へとビス止めして下さい。
- 前枠キャップはキャップの下部を側枠にひっかけてから前枠に納めて下さい。

6 雨樋の組立て



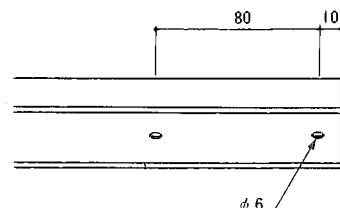
- 聖樋の長さ(ℓ)は現場合合わせて切断して下さい。
- 雨樋は仮組みしてから接着材を使つて組立てて下さい。
(注)パイプカバーは接着止めしないで下さい。
- 後枠使用しない側の穴にはキャップ及びビスを取付けて下さい。

サイクルランド 連棟タイプ

取説番号 ME-89 改1

施工順序

1 各部材の加工方法

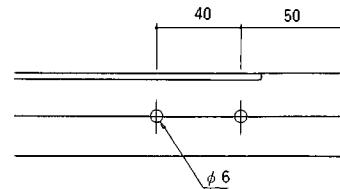
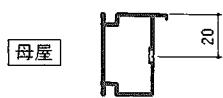


※連棟部材は、必ず標準側の右側に連棟して下さい。
(基本納まり図参照)

● 部材の加工

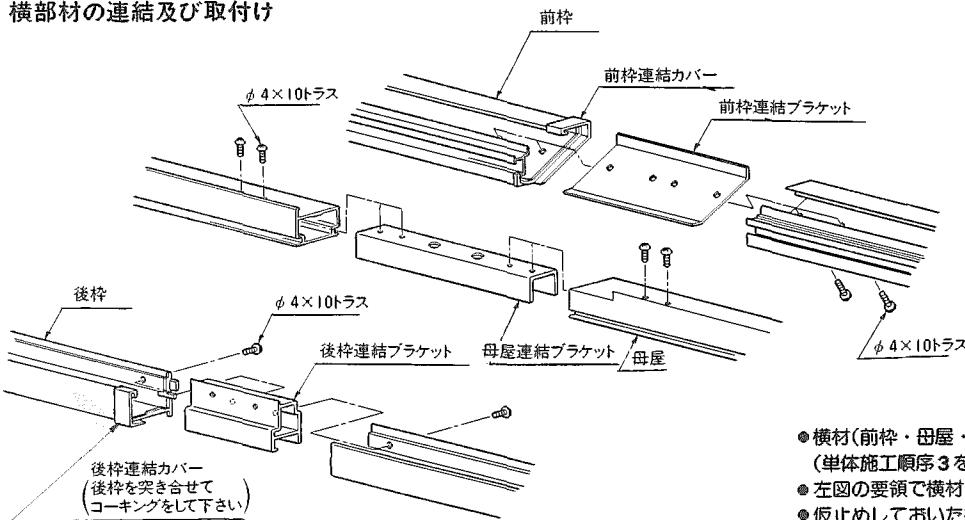
標準側の前枠と母屋の連棟部に左図の様に穴加工して下さい。
(前枠の孔あけはあて紙をご使用下さい。)

○柱の固定及び梁の取付(単体施工順序の1~3)を参照して下さい。



連棟側端部の後枠プラケット($\ell=40$)をはずして下さい。
連棟は部品箱の後枠連結プラケット($\ell=80$)を使用します。

2 横部材の連結及び取付け

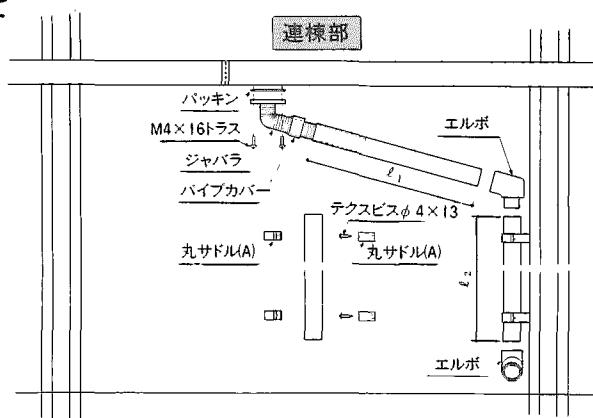


- 横材(前枠・母屋・後枠)を柱・梁に仮止めして下さい。
(単体施工順序3を参照して下さい)
- 左図の要領で横材を連結して下さい。
- 仮止めしておいた横材を完全に固定して下さい。
(※両サイドの柱からの横部材出寸法は均等にして下さい)

3 本体取付け

以降の取付方法は単体施工順序を参照して下さい。

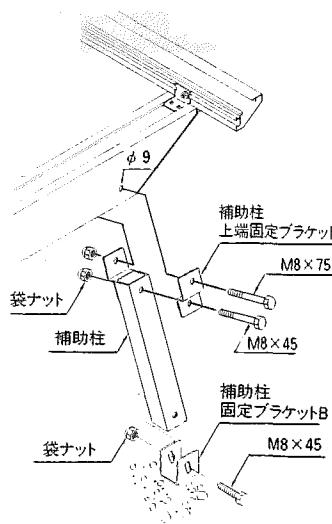
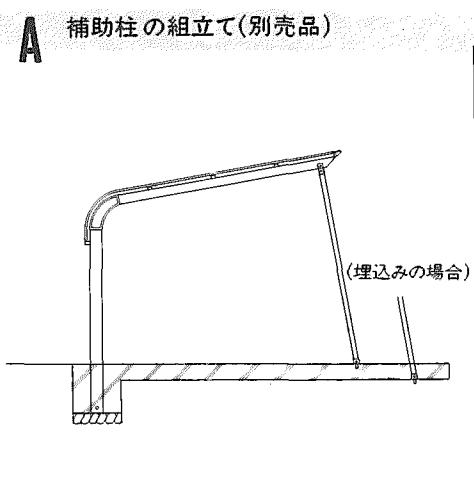
4 雨樋の組立て



- 竪樋の長さ(l_1 、 l_2)は現場合合わせて切断して下さい。
 - 雨樋は仮組みしてから接着材を使って組立てて下さい。
 - 後枠の使用しない側の穴にはキャップ及びビスを取付けて下さい。
 - 連棟部に付ける時は、ジャバラを竪樋(l_1)の中に出来るだけ入れて、エルボとして使用下さい。
 - 端部雨樋組立は単体施工順序6を参照して下さい。
- *パイプカバーは接着止めしないで下さい。

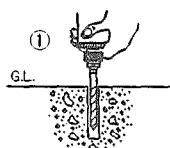
部分説明

A 補助柱の組立て(別売品)

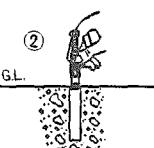


- 補助柱は長くなっていますので、取付位置確認後、切詰めて下さい。
- 所定の位置にAYプラグボルトを打込んで、補助柱固定プレケットBを固定して下さい。補助柱に補助柱上部固定プレケットをつけ、
- 梁の取付位置再確認後下穴9mmを開けて下さい。
- 補助柱をしっかりとボルトで固定して下さい。
(注)補助柱を埋込む場合は、プレケットB、AYプラグボルト共に埋め込んで下さい。

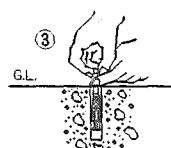
AY プラグボルト使用方法



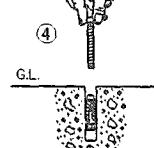
1. 先ず14mmのキリを使用してプラグボルトの長さより深い目に穴をあけて下さい。



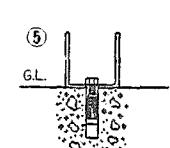
2. プラグボルトを1.の穴に差し込んで下さい。



3. ボルトを強く引き、ナットの空転止めを外筒にくい込ませて下さい。



4. ボルトを左まわしに緩めて、取り外して下さい。



5. 補助柱プラケット(B)を嵌め込み、ボルトにて締め付けてますと、外筒が開き完全に固定されます。

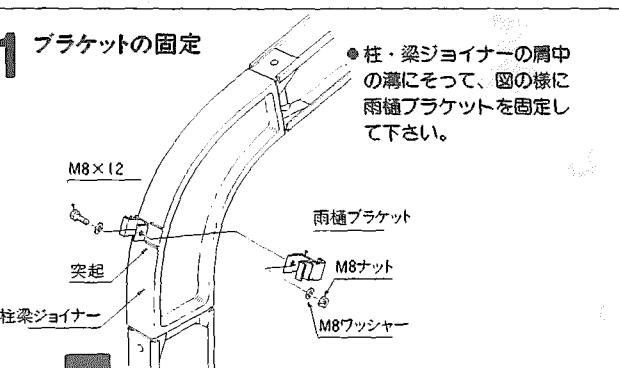
(注) プラグボルトを取り除く場合、一応ボルトを奥へ押し込んでから引き抜いて下さい。

サイクルランド 背面合掌タイプ

取説番号 ME-90

施工順序

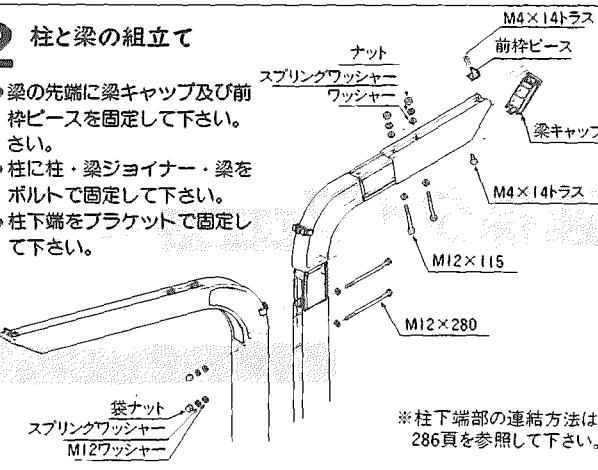
1 プラケットの固定



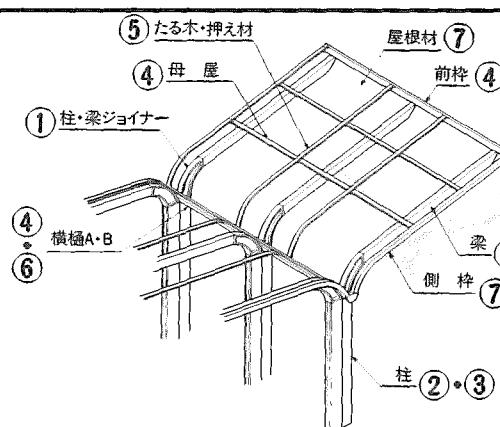
●柱・梁ジョイナーの肩中の溝にそって、図の様に雨樋ブラケットを固定して下さい。

2 柱と梁の組立て

- 梁の先端に梁キャップ及び前枠ピースを固定して下さい。
- 柱に柱・梁ジョイナー・梁をボルトで固定して下さい。
- 柱下端をプラケットで固定して下さい。



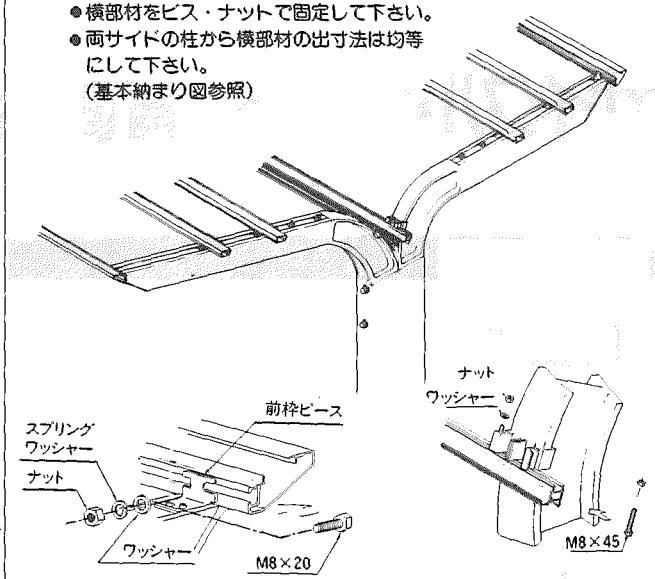
*柱下端部の連結方法は286頁を参照して下さい。



4 横部材の組立て

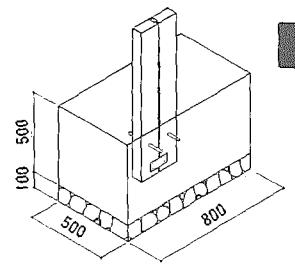
- 前枠・横樋Bにボルト(3本)を差し込んで下さい。
- 母屋に横材プラケット(3ヶ)を差し込んで下さい。
- 横部材をビス・ナットで固定して下さい。
- 両サイドの柱から横部材の出寸法は均等にして下さい。

(基本納まり図参照)



3 柱固定

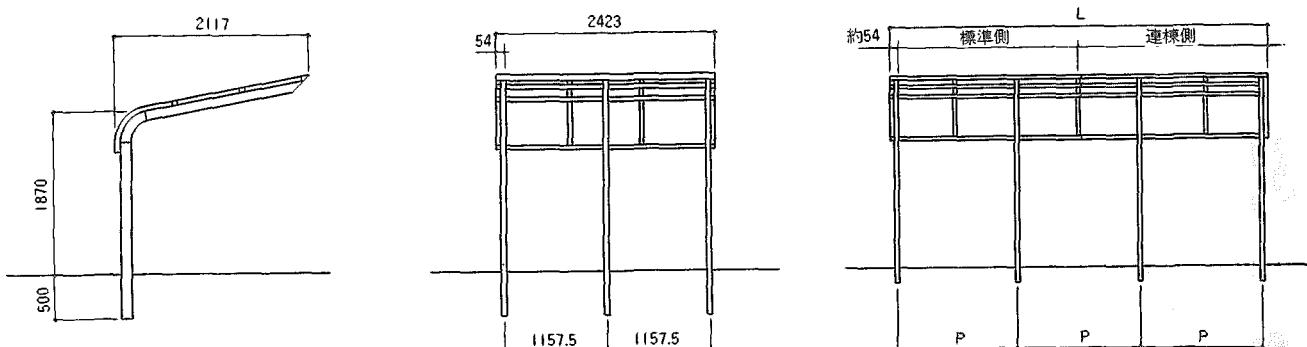
- 柱固定位置は基本納まり図を参照して下さい。
- 柱は右図埋め込み深さ600mmの穴を掘り、100mm割ぐり石を入れてつきかためた上でコンクリートで固定して下さい。



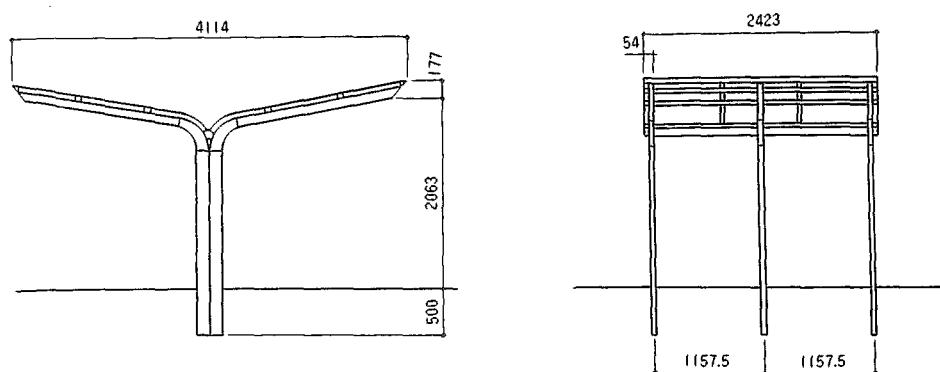
■ 基本納まり図

■ 単体納まり図

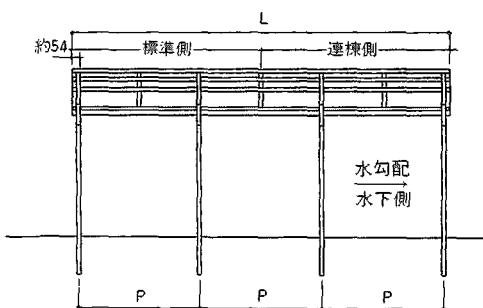
●連棟タイプ



■ 背面合掌納まり図



● 背面合掌連棟タイプ



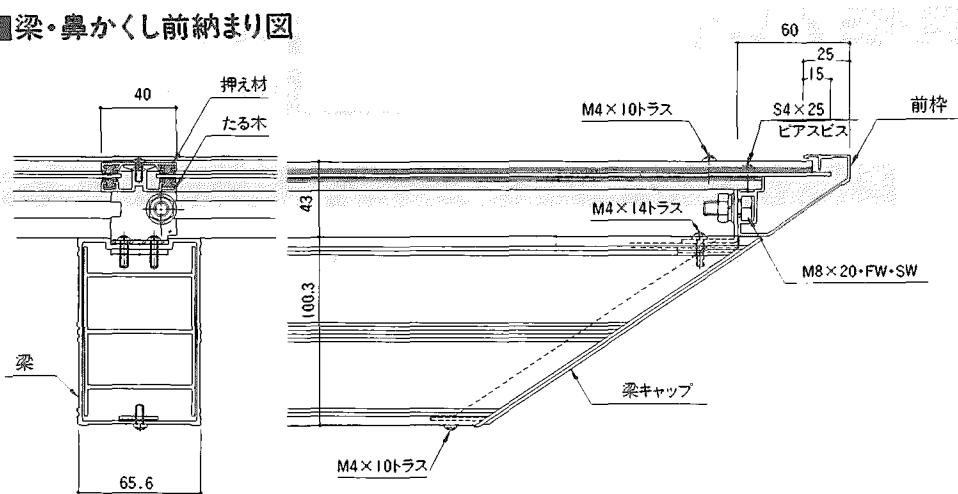
■ 連棟時の柱ピッチの算出

- 標準タイプ(3スパン)+連棟(2スパン or 3スパン)を組合せて連棟します。
(注) ここで言う1スパンとはアクリル板1枚分の事です。

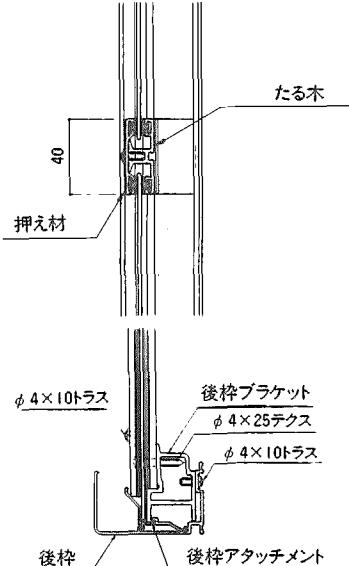
- 柱ピッチは、1,600mm以内とし、等分に配置して下さい。

柱ピッチの算出	$(L - 108) \div 1600 = N$ (少数はすべて切上げ)
	$P = (L - 108) / N$
L寸法の算出	$793 \times n (\text{スパン数}) + 44$

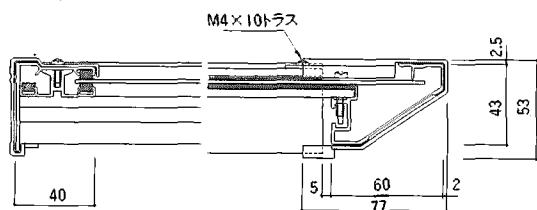
■梁・鼻かくし前納まり図



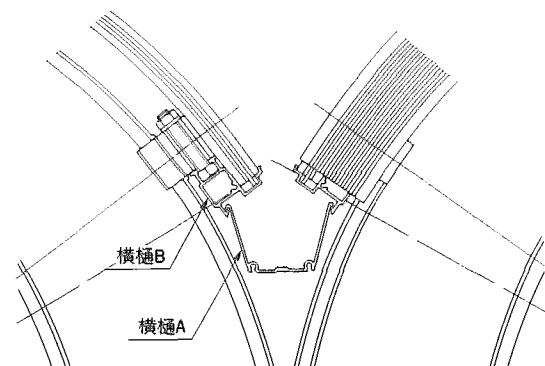
■横樋・たる木納まり図



■側枠・前枠納まり図



■ 背面合掌連結部



細明內包梱

*組合せにより梱包入数が変わる部材がありますのでご注意下さい。

名 称	梱包 内 容	名 称	梱包 内 容
柱	2本入	丸たて 横	1本(長さ:3000)
	3本入		アクリル板 2枚入(775×2445)
梁	2本入	屋根材	アクリル板 3枚入(775×2445)
	3本入		側板・たる木
側板・たる木	側板左右各1本、たる木4本、押え材2本	横部材	側板左右各2本、たる木8本、押え材4本
横部材	前枠2本、母屋2本、横樋1本、雨樋セット1組、部品セット、取付説明書		前枠2本、横樋A1本、横樋B2本、母屋4本、雨樋セット1組、部品セット、取付説明書
柱・梁ジョイナー	柱・梁ジョイナー 2本入	部品箱	組立部品一式
	柱・梁ジョイナー 3本入		たる木 4本入、押え材 4本入
柱・梁取付部品箱	組立部品一式	たる木	たる木 4本入、押え材 6本入
連棟用	たる木 2本入、押え材 2本入		横部材
	たる木 3本入、押え材 3本入	部品箱	前枠左右各1本、横樋A1本、横樋B左右各1本、母屋左右各2本、雨樋セット1組、部品セット、取付説明書
	横部材		組立部品一式
部品箱	組立部品一式	屋根材	アクリル板 2枚入(775×2131)
			アクリル板 3枚入(775×2131)
別壳	補助柱		補助柱 3本、部品箱
	丸たてとい		丸たてとい1セット(£:3000)